

'71



会報

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 603 号

1971.5.18 (火)

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

四つのテスト

—言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか
is it the truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and
better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all
concerned?

「隔りを取り除こう」

出席報告

| | | |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 本日の出席 | 会 員 数 | 62名 |
| | 出 席 数 | 36名 |
| | 出 席 率 | 58.06% |
| 欠 席 者 | 阿部(公)君、荒明君、安藤君 張君、長谷川(文)君、早坂 (源)君、橋浦君、飯白君、伊 藤君、五十嵐(伊)君、金井君 黒谷君、小花君、金野君、嶺 岸君、三井(徹)君、三浦君、 三井(賢)君、三井(健)君、廖 君、笹原君、齋藤(得)君、齋 藤(信)君、佐藤(昇)君、佐々 木君、藪田君 | |
| 前回の出席 | 前回出席率 | 66.13% |
| | 修正出席数 | 54名 |
| | 確定出席率 | 87.10% |

マークアップ
阿宗君一新庄RC
田中君一余目RC
鈴木(善)君一温海RC
藪田君一最上RC
阿部(公)君、五十嵐(伊)君、
金井君、芳網君、小野寺君、
齋藤(信)君一鶴岡西RC
張君、小花君、嶺岸君
—オーストラリア

ビジター 土田高之丞君一村上RC
原田行雄君一鶴岡西RC

会長報告

次年度の353地区のガバナーになられる庄司晋作さんが、いまレブクラシットで国際協議会に出席しているという便りが参っております。それが終わってからシドニーで開かれる世界大会に出席し、その後帰国するとのことでした。

6月20日に山形で協議会があるので、それまでにはお帰りになると思います。

余目ロータリークラブから、5月5日開かれたチャーターナイト出席に対しお礼状が届いています。読み上げますと

去る5月の認証状伝達式には、公私共ご多忙のところ、こころよく御参加ください誠に有難うございました。お蔭様で無事終了しどうやら一人前のクラブとなることができました。今後とも宜敷く御指導下さるようお願い申し上げます。

という文面です。

それから、鹿児島クラブの鮫島さん一行が帰られ、鹿児島庄内会々長の野津さんからもお礼の手紙が届いております。

謹啓 葉桜の候皆様にはますます御清栄のことと存じます。

会報はご家族みんなで読みましょう

このたび私どもは、松ヶ岡開墾場の創業百年維新記念式典に参加させていただきましたが、皆様がたと、言葉にはつくせない心と心のあたたかいふれあいを体験いたしまして、大変光栄に存じております。

あまつさえ、皆様がたからは、ひとかたならぬ御厚情にあずかり、また、御芳志をいただきまして心から感謝いたしております。

わたくしどもは、先人の遺した何物にもかえ難い尊い遺産「敬愛の精神」を、さらにはぐくみ続け、庄内の皆様がたとのより親密な交流を深めるべく、微力をつくしたいと存じております。

どうか今後とも、格別の御指導を賜わりますようお願い申し上げます。

ここに謹んで御礼申し上げます。

敬 白

昭和46年5月7日

小池会長外御一同様

鹿児島庄内会々長
野 津 親 生
鹿児島庄内会副会長
鹿児島明治百年記念館
建設調査委員会副委員長
鮫 島 志 芽 太
鹿児島明治百年記念館
建設調査室長補佐
本 田 省 吾

(鹿児島明治百年記念館建設調査室の住所は鹿児島市小川町3番56号です)

それから前に役員会に諮って決めたところの、鹿児島からいただいた屋久杉で出来た額は、今日の例会終了後に、ひさごやさんに差上げます。

盲啞学校生徒のレクリエーション行事に参加して

阿 部 襄 君

昨日、湯野浜に加茂で、鶴岡盲啞学校の生徒の招待レクリエーションがお蔭様で無事終了させていただきました。

朝は小雨で涼しく困ったと思いました。9時半過ぎに、海の話があり、それからプラネタリウムに係る夜の星の伝説などを説明していただき大変きれいでありました。それから加茂の方に参り、水族館でお昼まで児童達が自由にみながら遊んでおりました。私も先生と一緒に参り、なるべく沢山の児童に対し魚やなにかの説明をいたしましたが、40名位の生徒がおり、皆にお話をするという具合には仲々参りませんでした。

午後一時頃からは磯採取をいたしました。その頃には空もよく晴れて、鳥海山もよく見えるようになり、非常に好都合でありました。

目の不自由な子供達でしたので、岩渡りなどは、おんぶしたり手をつないだりなどして採取しました。アオサが沢山出ており、アオサや、貝や、磯キンチャクなどにさわったりなどして子供達が大変喜んでおりました。そして大体3時過ぎにりり、盲啞学校まで帰ってきました。たまたま学校の校長先生も一緒にして下さいまして、(勿論担任の先生は皆さんお出でになりましたが)校長先生も大変喜んでおられまして、今年も感じた絵などを多分書いてくれるだろうし、そういうのも楽しみです。と、おっしゃっておりました。

ご承知のように、昨年は盲啞学校の生徒さん達が磯採取や、水族館でみたものを絵にかけ、盲啞学校の全国コンクールに入賞したのを見せていただきましたが、今年もそのように出品したいと申しておりました。

子供等が皆大喜びであり、また校長先生をはじめ、先生方も皆様に御礼申し上げていただきましたと申しておりました。

これは鶴岡ロータリークラブだけでなく西クラブの方にも、意味深一日のレクリエーションを出来ましたことを、私からもお礼申し上げさせていただきます。

なお写真など出来ましたら届けて下さると思いますが、大体の様子と御礼を申し上げさせていただきます。

北洋漁業と日ソ交渉について

原 田 行 雄 氏

私がマイクの前でお話するのは海か船か魚以外は何も出来ません。

先程会長から、最近新聞などで、日ソの漁業問題が少し賑かになっているので、話してくれとの依頼がありました。

それで、かいつまんで、このことを申し上げることにいたします。

日ソの漁業交渉がいつから始まったのであろうかと申しますと、平和条約がサンフランシスコで締結されたのが昭和26年でしたが、その後昭和27年に例のマッカーサー・ラインが解かれて、洋上12哩の沖合で漁業が出来るようになったのがきっかけです。

即ち昭和27年に日本政府は、北洋の漁場に約50隻の船を試験捜漁をかねてやってからであります。

昔は3哩沖合で、操業していたのが、戦時中から出来なくなり、昭和27年に再開された

わけであり、28年、29年と続いているなかに、急拠としてプロガー・ラインというものが31年にソ連から（ライン）をひかれたといういきさつがあります。

その前に以西の方では李承晩ラインというのがひかれ、日本の漁船がそちらに行くことを阻止したのです。

そこで当時の鳩山内閣のときに、国をあげてソ連と仲よくなければならないということで、有名な河野農相が、モスクーに行ったのであります。流石の河野さんも、コーヒー茶腕がふるえたというエピソードがありますが、それがきっかけで、日本の漁船がソ連の沖合の方まで行って漁業に従事することが出来るようになったということが、日ソ漁業交渉の発端であります。

そしてアメリカとカナダと日本との、即ち日米加の条約は2ヶ年に1回東京で行なったり、米国でやる、交互に行なう2ヶ年の条約であります。これを一年おきに11月に行なうのですが日本とソ連との条約は毎年なのです。それが3月に入ってから申込なので、100日交渉で出漁間ぎわまで解決せずにもめておったということです。

それが鮭、鱒、カニにしぼったのが日ソ漁業交渉の歴史であります。それが今から3年前、急にソ連からは大陸だな資源と言っても、国連で決っているのとことと言ってきたのです。大陸だな資源というものは鉱物資源、植物資源、動物資源と同じように、自国のもので、それを捕るならば相手国と平和裡に話し合っ取りなさいということが国連で決っているのとことです。

しかし、その条約は日本では批准していないので、それを守ることは出来ないというのが日本の主張であります。そこで3年前からカニだけを分離して（カニだけならばソ連にこいと云っているほど高飛車に出ている）やっております。即ちカニだけは飽までも政府間交渉であって、鮭鱒、ニン、鱈、底魚等は民間交渉になり、ソ連からは毎年モイセーフという海洋資源研究所長が代表団長となって交渉にあたっています。なお日本からは大日本水産会長の藤田さんあるいは副会長か、または専務が、今年は専務の森沢という方が向うに行き交渉にあたられました。大程鮭鱒ニンというものは民間交渉であり、話し合いで決めるものです。これは自国のものではなく、皆がとつてもよいものであるが、資源のことをいろいろ論じ合いながら計画生産計画捕獲をしていかなければならないものであること。カニだけは飽までも自国のものであるから政府間で政治的に決めるものであるという主張であります。

それで3月からずうっとモスクーに行きましたけれども、基本的に日本としては大陸だな資源としては認めないということ。これは相当異動性のあるものであるから日本としては大陸だな資源として認めないが、ソ連では大陸だな資源と主張しているのです。

そう言った双方の意見の食い違いのために、20日間も向うで交渉し得なかったという経緯もあります。

そこで日本の三好生産部長と、それと同じような立場にあるラフスという先方の担当と非公式に用談し話をすすめてきたけれども、中途まで行く話と話が停滞し、遅々として進まなかったのであります。

そこで鮭鱒は東京、カニはモスクーということで両方の交渉で、日本は11万トンの鮭鱒は、今年は豊漁の年とも云われ必ず確保しなければならぬと主張しているのに対し、ソ連は7万トンを主張しているということで、一歩も歩み寄りには出来なかったとことです。それにカニの漁期も差し合っているに既に3月から日本海は鱒は操業しているという状態で、困り果てた結果、急拠赤城元農相を政府特使としてソ連に行ってもらい佐藤首相の親書をコスイギン首相に渡したのが、はっきりした記憶がうすれたが、つい先程でした。

なお行くときにイシコフという漁業大臣に会ったときに、イシコフさんもニシンの問題が向うで難行しているのだが、あなたがここにきてカニの事をきめよう云々とも、東京のニシンの問題も、一緒に考えようではないかと提案を受けたとことです。

そこで困って、私はカニの問題に急拠特使としてきたので、今ここでニシンとカニを結びつけるのはおかしいということ政府に請訓を求めたのであります。

私共は請訓がきた日に外務省で会合して、この際、ソ連が望むならば一抛に赤城に東京の鮭鱒もニシンも一緒にお願いしようじゃないかと考え、そうしたことが交渉を速めることになるではないかと業会の結論を赤城元農相に進言する途をとり政治折衝に入ってもらったのです。

ソ連のこういった交渉の仕方、即ち政治的な交渉のあり方は、いつでも使う先方の手なのであります。それに日本はやむを得ず引かかざるを得なかった訳です。最後には必ず政治折衝なのです。

最初双方の学者が、いろいろのデータから、鮭鱒とカニといるんな分科会に別れて検討する訳です。大体学者の答申はほぼ一致しているのですが、いざ交渉調印段階になると双方平行して纏らないというのが現状です。

そして最後には政治的に話を結着するという風になるのです。

米の政治加算と同様に、必ず政治が必要でソ連はむしろそれを望んでいるのではないのでしょうか。

実際今漁業問題が、もっともソ連と近く話し合っている状態でモイセーフという代表団長は、私は7～8年なりますが、狸穴のソ連大巨館に行って、私と45分間論争したことがあります。君が何なのか？ 作業服を着ているけれども君は船主でないかと云われました。私は、そのとき船主であり、船員であるということで反論したところ、船員ならば、鮭鱒はどのくらいいるのか知っているかと問われ、大体昨年22万トン獲ったではないかと云うとよく知っているねといわれました。このようなことを、モイセーフと論争したことがあるので今でも印象に残っております。

とに角先方は老巧で、外交がうまく日本がそれに従わざるを得なかったというのが今までの漁業交渉の経緯ではないのでしょうか。

それから、お蔭様で5月1日恰度ソ連のメーデーまで決るだろうというので、我々も待期しておりましたが、メーデー直前にニシンを大巾に譲歩したためにトントンときまり、午後から仮出漁許可証をもらい新潟まで、車でむかえて（酒田に28人の船員が約20日間釘付していたので）2日にカニ船を現地に迎えこれで一難を了えました。

なお鮭鱒は9万6千トンで妥結していたので予定通り10日に加茂を出航し、更に15日には函館を出航し、私も見送って参りました。

それに併行して、ニシンの強行出漁のことが新聞、テレビでごらんになっていると思いますが、今日がその日にあたり、今日政府のいろいろ返事が（もっと出さなければ、今日強行出漁するという業者の結束）待たれるところであります。なお課長から私に対し絶対強行出漁だけはやめるようにとの要望を受け私はやりませんと応えております。私の船は石巻に寄り、ニシン網を全部上げて、トロール今日10時に出航しました。

私の持船5隻が北洋に出漁完了したのは、今日の10時であります。

その後若干の質疑応答があり、なお風の方角と低気圧の配置などを、手と体でためす方法などについても、精しい説明がなされました。

幹事報告

会報到着

石巻東RC、新発田RC、鹿児島RC、
鹿児島西RC、尾花沢RC、会津坂下RC

例会変更

鶴岡西RC（親睦会を兼ねて）

5月28日（金）PM5.30

湯田川 七内旅館 登録料 1,000円

温海RC（創立1周年記念）

5月24日（月）AM 11.00

温海 金沢屋旅館

チャーターナイト案内

福島南RC 6月27日（日）

PM1.00～3.00

福島県文化センター（福島市）

登録料 ¥ 4,000

6月27日 懇親ゴルフ大会

AM9.00スタート

福島ゴルフクラブ「民報コース」

会費 ¥ 1,500